

学校だより

10月号

一中の桜並木

令和6年10月7日

「教育目標」

考える人 思いやりのある人
助け合う人 成しとげる人



連雀学園三鷹市立第一中学校

校長 宮城 洋之



実りの秋・・・

副校長 長谷川隆行

『暑さ寒さも彼岸まで』朝夕の暑さもだいぶ和らぎ、秋の気配を感じられるようになってきました。秋と言えば、「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」「食欲の秋」などとも言われますが 保護者の皆様はどのようにお過ごしでしょうか。

2学期が始まってからこの間に3年生は2泊3日の「修学旅行」、2年生は3日間の「職場体験」と1学期から修学旅行実行委員や職場体験班のリーダーを中心に組み組んできた行事を無事に終えることが出来ました。また、1年生の「職業人の話を聞く会」はキャリア学習として、学校公開3日目に開催しましたが、多くの保護者の方にも参観していただくことができ、生徒にとってもこれからの進路を考える上で有意義な取り組みとなりました。それぞれの学年がそれぞれの行事を通して体験したことや学んだことなどをこれからの学習や生活に活かして欲しいと思います。

今年度、生徒の主体的な取り組みを重点に生徒会活動を展開しています。9月の生徒会役員選挙で新しい本部役員が決まり、各学級でも後期の委員や係の選出が行われ、後期生徒会活動がスタートしました。10月中旬にある生徒総会では、3年生から2年生にバトンを引き継いだ各種委員会の委員長が提案席に立つこととなります。伝統ある一中の生徒会活動に新たな風を吹き込んでくれることを期待しています。

部活動については文化部及び運動部ともに夏休み以降は1・2年生の部員による新しい組織で日々の活動がスタートしました。運動部では三鷹市民大会や中体連秋季大会（新人大会）など数多くの大会が現在行われており、また、文化部も秋から冬にかけて様々な発表の機会が予定されています。どの部も日頃の活動の成果を思う存分発揮してくれることを楽しみにしています。

今月10月24日（木）には武蔵野市民文化会館で合唱コンクールを行います。保護者の皆様も中学生の頃に「合唱コンクール」や「合唱祭」を経験された方は多いのではないのでしょうか。中学校で合唱コンクールが伝統になっているのは、この行事を通してクラスや一人ひとりの生徒が大きく成長するからなのだと思います。何よりも、クラス一丸となって作り上げたものが人を感動させるという経験は他ではなかなか得難いものです。10日（木）から2週間という限られた期間に、生徒たちは実行委員やリーダーを中心に知恵を出し合って練習に取り組むこととなります。保護者の皆様は座席数の関係で学年入れ替え制となるため、お子様の学年の合唱しか鑑賞していただけないですが、ぜひ、生徒たちが心をひとつにして取り組んだ成果をご覧いただきたいと思います。

一中の秋は、まさに「実りの秋」です。様々な行事や取り組みが続きますが、その一つ一つは今年の実りであると同時に次のステップに向けて力を蓄える機会でもあるのです。

生徒の皆さんは一中生らしい、全力で取り組む姿を見せてください。